

あとがき

プロテオームの新しい寄付講座が開設された。その記念講演会が東京医科大学病院臨床講堂で開催され、ノーベル賞受賞研究者である田中耕一先生が講演された。

ポストゲノム時代の急先鋒として、プロテオミクス研究の急速な発展が予感される講演会であった。プロテオーム解析、タンパク質構造解析、タンパク質ネットワークの解明などの臨床応用が東京医科大学で研究されることを期待する。

プロテオミクスとは、細胞や組織で作られたタンパク質を網羅的に解析し、生体内におけるタンパク質の機能の全体像を解明する科学である。

プロテオーム解析は、質量分析計を用いて、タンパク質を網羅的に解析することを主な手法とする研究である。二次元電気泳動やさらに新しい方法によって、極めて短時間にタンパク質のマップを作成し、マップ上に展開された個々の微量タンパク質のアミノ酸配列を、質量分析計を用いて決定する。

東京医科大学の臨床材料から世界に向けて新たな機能蛋白が発見されたり、タンパク質相互作用の解明により、病態の解

明や新しい診断法・治療法の開発が行われる日も近いと思われる。この研究領域の原稿が本誌へ投稿され輝かしい業績として紙面を賑わせることになるであろう。このことは、東京医科大学の研究者個人の業績評価が向上するのみならず、ひいては大学全体の評価が上がることを意味している。

外部評価が声高に言われている現在、学術誌を持ちそれを維持している大学は大切である。また、同時に絶えず紙面の質的向上を計る努力も必要である。今回のプロテオーム寄付講座の今後本誌に果たす役割は大きい。

大学としては新しい方向性であるプロテオーム寄付講座の活動を本誌で定期的に報告するコーナーを設けてはいかかであろうか。会員への啓蒙のみならず、東京医科大学の新しく展開する研究を、対外的に広報する役割を果たせるであろう。

寄付講座における研究が論文投稿される日が待ち望まれる今月号である。

(森安 史典 記)

幹事会 (要旨) (平成 15 年 1 月 29 日)

1. 庶務報告
 - 第 151 回総会 (平成 15 年 6 月 2 日 土曜日) 開催予定
 - 当 番 教 室 : 薬理学講座、内科学第 4 講座
 - そ の 他 : 一般演題のパネル発表形式
 - 第 152 回総会 (平成 15 年 11 月 1 日 土曜日) 開催予定
 - 当 番 教 室 : 生化学講座、泌尿器科学講座
 - そ の 他 : シンポジウムの予定
2. 編集報告
 - 1) 60 巻 6 号 : 初校印刷中
 - 61 巻 1 号 : 初校印刷中
 - 61 巻 2 号 : 投稿論文受付中
 - 61 巻 3 号 : 投稿論文受付中
 - 61 巻 4 号 : 投稿論文受付中
 - 61 巻 特別号 : 3 月募集予定
 - 2) 著作権の帰属に関する東医大誌への記載について
 - * 前回の幹事会にて承認されたメテオインターゲート社との「電子配信」契約に伴う、著作権の帰属について東医大誌に表記掲載することとした。
3. 臨床懇話会報告
 - 1) 開催報告
 - 第 326 回 (14.12.17) 内科学第 4 講座 真田 淳 講師
- 第 327 回 (15.01.27) 臨床検査医学講座 山元泰之 講師
- 2) 開催予定
 - 第 328 回 (15.02.25) 霞ヶ浦病院・耳鼻咽喉科 折本久美子 講師
 - 第 329 回 (15.03.未定) 産科婦人科学講座 依頼中
 - 第 330 回 (15.04.未定) 放射線医学講座 依頼中
4. 審議事項
 - 1) 投稿規定「執筆にあたっての留意事項」改正について
 - * 投稿規定「執筆にあたっての留意事項」の改正について種々審議した。
 - ① 「文献表記」の参考文献の並べ方について審議した結果、現行通りとする事とした。但し外部投稿の「総説」の場合は文献表記はアルファベット順であっても、可とする事とした。
 - ② 邦文の句読点の使い方については、改正案である (、点) と (。マル) を採用することとした。但し邦文内に英語文が混入されている場合、英語文については、(、カンマ)(、ピリオド) の使用も可とした。また「投稿規定」の句読点も (、点) と (。マル) に変更することとした。

	医 学 会								
伊高小石	東山柳丸	雅 恭	洋 (会 長)	荒 井 (会 長)	貞 夫 (委 員)	夫 淳 (〃)	夫 淳 (〃)	夫 淳 (〃)	夫 淳 (〃)
大屋敷	内 野 善	善 一	(副 会 長)	一 岩 (〃)	俊 任 (〃)	俊 任 (〃)	俊 任 (〃)	俊 任 (〃)	俊 任 (〃)
飯下星	屋敷 善	一 眞	(庶務幹事)	遠 後 (〃)	英 浩 (〃)	英 浩 (〃)	英 浩 (〃)	英 浩 (〃)	英 浩 (〃)
J. P. 浅	大 野 善	眞 喜	(編集幹事)	福 松 (〃)	英 浩 (〃)	英 浩 (〃)	英 浩 (〃)	英 浩 (〃)	英 浩 (〃)
倉 英	屋敷 善	一 眞	(会計幹事)	宮 口 (〃)	輝 純 (〃)	輝 純 (〃)	輝 純 (〃)	輝 純 (〃)	輝 純 (〃)
	大 野 善	眞 喜	(監 事)	水 宮 (〃)	一 郎 (〃)	一 郎 (〃)	一 郎 (〃)	一 郎 (〃)	一 郎 (〃)
	屋敷 善	一 眞	(委 員)	森 行 (〃)	正 史 (〃)	正 史 (〃)	正 史 (〃)	正 史 (〃)	正 史 (〃)
	大 野 善	眞 喜	(〃)	安 岡 (〃)	典 男 (〃)	典 男 (〃)	典 男 (〃)	典 男 (〃)	典 男 (〃)

編集委員会

内 野 善 生	松 水 宮 輝 彦	松 水 宮 輝 彦
大 野 善 生	水 宮 輝 彦	水 宮 輝 彦
屋敷 善 生	鈴 木 衛 彦	鈴 木 衛 彦
遠 藤 任 健	松 任 健	松 任 健

平成 15 年 5 月 26 日 印刷
 平成 15 年 6 月 5 日 発行
 東京医科大学雑誌 第 61 巻 第 2 号

発行者 伊 東 洋
 発行所 東京医科大学医学部
 (東京医科大学内)
 〒 160-8402
 東京都新宿区新宿 6-1-1
 TEL 03 (3351) 6141 (代)
 FAX 03 (3226) 7030
 e-mail address
 igakukai@tokyo-med.ac.jp

印刷所 笹氣出版印刷株式会社
 〒 984-0011
 仙台市若林区六丁の目西町 8-45
 TEL 022 (288) 5555

当該雑誌に掲載された論文の著作権は本医学会に帰属する。また本書の無断複写 (コピー) は著作権法上での例外を除き禁じられている。